

## 式 辞

春の日差しが日ごとに強く降り注ぎ、校庭の木々も一斉に若葉を広げ始め、春の息吹が感じられる今日の佳き日に、ご来賓の皆様並びに保護者の皆様方のご臨席を賜り、ここに令和三年度群馬県立太田高等学校入学式が挙行できますことは、私ども教職員一同の大きな喜びであり、心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました二百七十九名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。本日、伝統ある太田高校に新たな一員として加わる皆さんの入学を、心から歓迎いたします。また、保護者の皆様におかれましても、ご子息が健やかに成長され、高校生になられた喜びはひとしおのことと、心からお祝い申し上げます。

本校は、今年度、創立百二十四周年を迎える伝統校であり、創立以来「文武両道」「質実剛健」の校風を堅持し、これまでに三万名を超える卒業生を送り出し、国内のみならず世界の各地で、様々な分野において活躍しているところであります。

新入生の皆さんは、今日から太田高生としてスタートを切ります。この三年間は皆さんの人生の柱を創る貴重な三年間となります。大いに学び、大いに部活動に励み、友と語り、不屈の精神で自分を鍛え、社会をリードする懐の深い人間に成長して欲しいと願っています。

皆さんが太田高校の入学するに当たり、2つのことを話します。

一つは、「太田高校への入学がゴールではなく、入学式の今日をスタートと考えて欲しい」ということです。

これから三年間、様々な経験を重ね、大きく成長してくれることと期待していますが、太田高校での目指すレベルは相当に高いところにあります。学ぶ質も量も、中学時代に比べて格段に高く、そして多くなります。気を抜いていると、いつの間にか目標を見失い、ただ時間を浪費することになりかねません。日々の生活の中で、やるべきことが多くて思うように進まず、大きな波に飲み込まれそうな経験もすることでしょう。そうしたときに自分を見失わず、自分を支えてくれるのが自分の目標であり、初心であると考えます。努力は裏切りません。努力した分だけ必ず成果として結実し、怠けた分だけ怠けた結果が跳ね返ってくるはずです。また、皆さんは次世代のリーダーとして地域や日本、そして世界で大いに活躍してくれることを、我々教職員一同のみならず、保護者の方々や地域社会から期待されているのです。「夢は大きく、志は高く！」です。入学式の今日をスタートと考え、高い目標を明確に定め、初心を忘れない努力をし続けてください。

そしてもう一つは、「変化の激しい社会を生き抜くために必要な力を、バランス良く身に付けて欲しい」ということです。

今年の一月から新しく「大学入学共通テスト」が始まりました。また、大学入試では「一般選抜」に加え、面接や小論文・プレゼンテーションなどによる「高い学習意欲」や「学びへの明確な目的意識」が選抜基準として重んじられている「総合型選抜」などが拡充されており、入試制度が大きく変わろうとしています。

このことの背景には、現代社会が工業化社会から知識基盤社会への移行期であり、人工知能やITの急速な発達により、私たちの暮らしや働き方が根本から変わろうとしている第四次産業革命の真っただ中にあることがあげられます。

現代社会は、こうした変化の激しい社会を生き抜く人材の育成を喫緊の課題として位置付け、203

0年を見据えた新しい教育が始まろうとしています。大学入試制度も、社会を生き抜くために必要な力を試す試験として大きく舵を切ったといえるでしょう。

太田高校においても、「文武両道」「質実剛健」を堅持するこれまでの120余年の歴史と伝統を継承する一方で、新しい時代の流れの中で求められている「2030年を見据えた新しい教育」も推進する必要があると考えています。

生徒の皆さんには、3年間という限りある時を有効に活用し、様々な問いと実践を投げかけるので、受け身ならず、主体的に考え、行動し、我々の指導にしっかりついてきて欲しいと思います。

最後になりますが、今日から始まる高校生活の中で心配なことのひとつに交通事故があります。新入生の皆さんは、慣れない通学路を通うこととなりますが、交通ルールを遵守し、細心の注意を払って登下校をしていただきたいと思います。強くお願いします。

結びに、ご臨席を賜りました皆様方に、新入生の今後の成長を温かく見守っていただきますことをお願い申し上げます、式辞といたします。

令和三年四月八日

群馬県立太田高等学校長 丸橋 覚